

醤油たるから始まった若者道場 曹洞宗僧侶 野田大燈（たいどう）66歳

野田大燈（ののだいとう、1946年-）は、日本の曹洞宗の僧侶、教育者。喝破道場塾長。
不登校や非行青少年および悩める一般社会人を受け入れた青少年錬成施設 喝破道場では大きな実績を残す。
サッカー日本代表岡田武史前監督の心の師として知られる。

1946年3月21日、香川県高松市に生まれる。1973年、働きながら香川県立高松南高等学校定時制卒業。

指圧鍼灸専門学校に通い、健康器具販売会社を設立。

1974年4月8日、駒澤大学理事長栗田大俊師に師事して出家得度。瑞應寺専門僧堂にて修行。

1975年、遺産の土地に醤油樽、後にバスを用いて禅寺・報四恩精舎（寺名）を建てる。

大型バスを改造した坐禅堂の坐禅と、農耕や原野の開墾を主にした研修。この時の参加企業は今も研修を継続中。

1984年、不登校や非行の青少年を受け入れる青少年錬成施設 財団法人 喝破道場を設立。

1993年、四恩の里設立、1994年、若竹学園を設立。2001年、板橋興宗に呼ばれ、総持寺後堂を務め、カウンセリングを僧堂に導入する。2006年、青少年の受け入れ事業「若者自立塾」が、厚生労働省の正式な委託事業となる。



禅寺・報四恩精舎（寺名）と名づけた四恩とは？

自分のことが出来るのは当たり前！ 人のことを考え、人の為に尽くそう！
人間は四つの恩に報いる生活が必要。

1. 父母の恩

オギャーと生まれてから誰に養育されたか。お父さん、お母さん産んでくれてありがとう

2. 社会の恩

人は一人では生きては行けない。人と人との間で支えあって生きている

3. 郷土の恩

家族・親族・友達・ふる里・日本・世界「世界は一家、人類は皆兄弟」

4. 大自然（仏）の恩

空気・水・太陽・動物・植物、そして自分自身の命を考えてみよう

喝破道場（青少年錬成施設 財団法人）

野田大燈 連絡先 香川県高松市中山町五色台 電話087-882-4022 FAX087-881-5906

不登校や非行の青少年および悩める一般社会人の情操の陶冶と心身の練磨を図り、個性豊かな人間を育成するを受け入れる
青少年錬成施設 財団法人 喝破道場では、青少年および一般社会人の「生きてゆく基本を、
身体を通じた体験で判るように教えている。」（座禅→呼吸法→自分で自分が変わってくるのが判る）

命令では人（不登校や非行の青少年および一般社会人）は動かない！ 瀬戸内海国立公園五色台の恵まれた自然環境の中
で、自給自足の禅的共同生活（炊事、洗濯、掃除、草抜き、座禅・・・）を一緒に行動しながら人を諭す。

ここでは水道に蛇口がない。人間の身体は水で出来ている。水は命、一滴も無駄にしない！
ひしゃくに入った水で顔を洗い、歯を磨く……